

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和4年11月28日

和泉市長 あて

団体名 ガールスカウト大阪府第28団  
代表者名 安村 直美  
所在地 和泉市上代町 617-16  
電話番号 0725-43-8086

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	みんなでSDGsチャレンジ!
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	367,000 円 (うち、対象経費 367,000 円)
支援金 交付申請額	183,000 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(はい・いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 団体概要調書

フリガナ	ガールスカウトオオサカフダイ 28 ダン		
団体名	ガールスカウト大阪府第 28 団		
団体の目的	「自然とともに」「人とのまじわり」「自己開発」に基づいて活動し、体験を通して、コミュニケーション力、実行力、責任感を身に付け、少女と女性の可能性を最大限に伸ばすこと		
市内事務所の所在地	〒594- 和泉市上代町 617-16		
	【専用事務所 ・ (住居と兼用) ・ その他 ( )】		
	電 話	(43) 8086	FAX 同左
フリガナ	ヤスマラ ナオミ		
代表者氏名	安村 直美		
連絡先 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※	電 話	●●●●●●●●
	フリガナ ●●●●●●	FAX	●●●●●●●●
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	1975 年 10 月	主な活動地域	和泉中央～信太山付近
会報等の発行	(有) (年 2 回発行) ・ 無 上部団体発行のもの	会員数	31 人
メールアドレス	●●●●●●●●●●		
ホームページ	<a href="https://girlscouts-osaka28.jimdofree.com/">https://girlscouts-osaka28.jimdofree.com/</a>		
主な事業内容	野外活動、野外炊飯、キャンプ、アドプトロード清掃、みどりの募金、歳末たすけ合い募金、スキー、スケート、緑化活動、自然観察会、SDGs に関する活動、ジェンダー教育活動、海外交流など		
主な活動の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>和泉市ちよいず事業にエントリー（2014～2019年の6年間）</li> <li>大阪府より河川愛護功績者として表彰される（2015年）</li> <li>和泉市信太山丘陵里山自然公園にて2018年からクラフト講師</li> </ul>		
国・府・市及び各種団体等からの他の補助金及び委託実績（過去3年間の実績を記載）	年度	名称	金額（円）
	2022	和泉市民活動支援事業	50,000

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 事業計画書

1 事業名	みんなでSDGsチャレンジ！
2 申請コース	<input type="checkbox"/> (1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース      ■ ステップアップコース <input type="checkbox"/> (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等	
<p>SDGsの必要性、有用性が叫ばれている昨今において、SDGsって聞いたことはあるけど、それが何？と思われている方や、自分たちには関係ない、必要ないと思われている方もまだ少なくないと感じています。興味関心はあるけれども、なんだか難しそうだし、意味がよくわからないので、どうしたら良いのかわからない。そんな方も多くいるのではないかと思います。そのような興味関心はあるけれども、どうしたら良いかわからない、何からどうすれば良いのかさっぱりわからないという方やご家庭に向けて、私たちと一緒にSDGsについて考え、取り組んでいただける場を持ち、「SDGsってこういうことだったんだ。」「これなら我が家でも続けてやれそうだ」という気付きをいただける機会を設けたいと考えています。</p> <p>私たちガールスカウトは、SDGSの前身であるMDGSの時からこれらの問題への取り組みを続けています。このSDGSという枠組みを私たちと一緒に捉え、諸問題に取り組みながら、少女と女性が活躍できる機会として、ともに成長できる場にしていきたいと願っています。</p>	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果	
<p>私たちの達成したい重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「SDG11：住み続けられるまちづくりを」 和泉市に新しく作っている最中の公園で実施する本事業に参画することで、公園作りに自ずと関わりをもつこととなります。公園づくりはまちづくりそのもの。公園という場において我々ができることは何か。一緒に考え、取り組める機会となります。</li> <li>・「SDG12：つくる責任つかう責任」 上記でも触れた公園づくりですが、一緒に考え取り組みに参画するという事は、つくる側の責任も発生し、同時につかう側の責任も発生します。また限りある資源を使った工作からも資源の大切さを学びます。責任を自覚することは未来を担うこと。未来を担うということは、楽しいだけではなく、持続可能な成り立ちであることが不可欠ということに気付きをもたらします。</li> <li>・「SDG15：陸の豊かさも守ろう」 信太山丘陵里山自然公園に集っていただくことで、実際に見て触れて里山について知ることもでき、保全活動にも参加することを促すことで、その森の素晴らしさ、そこにある自然の神秘、信太山丘陵にしかない貴重な動植物に触れ、それらを知り、それらの財産を次世代へと引き継いでいくために一緒にできることの可能性を高めていくことができます。</li> <li>・「SDG17：パートナーシップで目標を達成しよう」 わたしたちガールスカウトだけではこれらの目標を達成することは難しく、公園づくりの主体である和泉市や、他の協力団体の常日頃からのご尽力があるからこそ、参画できる場所であり、何よりそこに市民としての「自分」が入っていただき、皆が協力することで、自分1人だけでは達成できないことが自分の事として達成できることを知ります。</li> <li>・「SDG5：ジェンダー平等を実現しよう」 世の中において、何をするにしても管理職などの責任のある立場にあるのは、まだまだ男性の</li> </ul>	

割合の方が多いのが実情です。これは SDG11.12.15.17 のどの項目においても貫いて横たわっている現実であると思っておりますが、そのような場所に、わたしたち女性の団体が参画することで、おのずと女性の参画率が上がり、機会均等の場をつくることに資することができます。また、そのような場所でもリーダーシップの取れる人物を育てていきます。

私たちが達成しようとするその他の関連目標

- SDG1：貧困をなくそう
- SDG3：すべての人に健康と福祉を
- SDG6：安全な水とトイレを世界中に
- SDG7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- SDG10：人や国の不平等をなくそう
- SDG13：気候変動に具体的な対策を
- SDG14：海の豊かさを守ろう

#### 4 事業内容（※別紙添付可）

① 問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。

##### 1. アドプトロードの清掃

捨ってもなくならないゴミから、住み続けるまちを作っていくには適切な維持管理が必要であり、プラスチックや缶は土に還らないということなど、体験を通して知る (SDG11.15)

##### 2. アドプトリバーの清掃

上記の内容に加え、川は海につながっていること、河原のゴミは海へ流れ着くことなどを知る (SDG11.14)

##### 3. 宿泊を伴う研修

車でサッと現地に到着するのではなく、公共の交通機関を使用し、目的地まで重たい荷物を背負って自分の足で歩くことで、環境に対する負荷について身をもって知る。ご飯を食べるにもスイッチを押すだけではなく、薪から火を起こして自分達で調理をすることで、エネルギーと食料の大切さも知る。テントで宿泊することで、しっかりした屋根と壁のある家、背中が痛くない布団で寝ることができること、そんな当たり前の日常のありがたみを思い知る。困難が多くある中で協力することの大切さ、リーダーシップの重要性について学ぶ (SDG5.6.7.12)

##### 4. 緑の募金

種を植えたら芽が出て、花が咲く、樹になるという緑化のプロセスについて知り、自らの緑化活動も実施しながら、募金を通してより多くの人にも知ってもらったり協力してもらったりして、緑の輪を広げる (SDG15.17)

##### 5. なかよしプロジェクト

大阪府立聴覚支援学校の生徒達との交流会と文化祭に参加。目や耳にハンデのある方のことを知り、手話を学んだりしながら、基本の生活の中で知らないうちに生まれている不平等について考え、その中で自分たちが出来ることは何かを考え実行する (SDG5.10)

##### 6. 夕涼み会

少女と女性が他を楽しませることを自ら企画・実行し、リーダーシップを身に付けることを主目的とし、その中で水鉄砲の遊びを通して打ち水効果も検証するなど、どのように SDGS に関連付けていくかも考えながら会を開催します (SDG5.6.13)

##### 7. みんなで SDGS チャレンジ！ イベント開催

信太山丘陵里山自然公園にて木育講座を 11 月 5 日に実施。この日は公園の保全活動日でも

あり、信太山の新しい公園を皆さんに知っていただきながら、緑と触れ合う日として、ガールスカウトのプログラムの一つである木育講座を取り入れた老若男女問わず参加していただけるチラシ募集イベントとする。これを一連のメイン事業と位置付ける。(SDG5.11.12.15.17)

8. ボランティアフェスティバル出店

少女と女性が自ら企画・作成した手作りのものを販売する。作成に当たって資材の調達や資源の大切さについて知り、販売に当たっては売る際に生じる責任についても考える (SDG5.12)

9. 赤い羽根共同募金

別名を歳末助け合い募金と言ひ、文字通りに年末にお困りの方に少しでも出来ることがあり、声を出すことで協力していただける方がいることを知る。ご協力いただいた募金は年内に和泉市長にお届けし、市長を通して社会福祉協議会へと届けられる (SDG1.3.17)

10. 新年親子初集会

宿泊を伴わない野外研修。日帰りで宿泊こそしないものの、少女だけでなく、保護者も交えて野外での不便さを体験し、日頃の生活へ何かしらの気付きを持ち帰る (SDG7.12)

11. ゆうゆうロビー事業

8. 同様に作成したものの販売 (SDG5.12)

12. その他必要に応じて研修会や自然観察会など SDGS に関連する事業への参加

③ 実施期間 (日時)	2023年4月～2024年3月
④ 実施場所	1.和泉市総合福祉会館の横の道路 2.槇尾川流域の一部 4.アムゼモール広場 5.大阪府立聴覚支援学校 6.コスモ中央公園 7.信太山丘陵里山自然公園 9.和泉市役所 10.信太山青少年野外活動センター 11.人権文化センター 他
⑤ 主な対象者	少女 (4歳以上) または女性とその家族
⑥ 参加予定者数	40人 (参加者) + 20人 (スタッフ)
⑦ 告知方法	チラシ、広報いずみ、市のメールとLINE、当団HPにて

5 事業スケジュール

時期 (月)	内容
・4.6.7.9.11.12.2.3月	アドプトロード清掃
・5.10月	アドプトリバー清掃
・4月下旬～5月上旬	宿泊を伴う研修
・5月	緑の募金
・6.10月	なかよしプロジェクト
・8月末 (夏休み期間中)	夕涼み会
・9月中旬～下旬	宿泊を伴う研修
・11月5日	みんなでSDGsイベント開催

<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月</li> <li>・12月上旬</li> <li>・1月中旬</li> <li>・2月</li> <li>・不定期</li> </ul>	<p>ボランティアフェスティバル 赤い羽根共同募金 初集会野外活動 ゆうゆうロビー事業 研修会、自然観察会など</p>
<p><b>6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照</b> (実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)</p>	
<p>① 公益性</p>	<p>① 広く市民の共感が得られる事業であるか ⇒SDGsの具体的目標を掲げているが、事業自体はやわらかい内容のため、広く市民の共感を得られる事業である。</p> <p>② 事業の成果が不特定多数の市民の利益につながる事業であるか ⇒事業の成果は不特定多数の市民の利益のみならず、地球の海や川、山や森、地球サイズでの利益につながる事業である。</p> <p>③ 地域及び社会の課題解決につながる事業であるか ⇒比較的子育て年代の若い層にリーチすることができるため、その世代を巻き込みながらある程度長いスパンを睨んだ持続可能な解決を考えることができる。また私たちは子どもの育成団体であることから、事業を通して子ども達とその保護者が一緒に成長していくことを重視し、本事業が子育てに悩む人や何かしらの困難を抱える人の一助になることを目指します。</p>
<p>② 継続性</p>	<p>④ 事業の成果が広く波及する事業であるか ⇒一緒にSDGsの切り口を学んだ人たちが、それぞれに、マイSDGsを持ち帰り、家庭や職場での実践が可能となる事業である。SNSやハッシュタグなども活用するため、広い波及効果が期待できる。</p> <p>⑤ 補助金だけに頼らずに自己努力による財源確保に努めた事業であるか ⇒これまで自主財源で賄って来ている実績のある事業が多数あるので、財源確保自体はそう難しい課題ではないが、少子化などにより会員の確保が年々難しくなっているため、財源を少しでもそちらの負担に回して、会員増になるように願う。</p>
<p>③ 実行性</p>	<p>⑥ 目的・効果が明確であり、実行可能な方法で事業計画、予算が立案されている事業であるか。 ⇒目的、効果ともに明確であり、実績のある独自プログラムがあることから、かかる予算も概ね現実的に算出している。</p> <p>⑦ 事業の成果が期待できる体制を確保できているか ⇒後日アンケートを行い、後日開催の事業（11月、2月）への案内をし、直接的につながる場も設け、気軽に意見交換などができる導線とする。</p> <p>⑧ 事業にかかる申請額が適切であるか ⇒申請に必要な経費を精査したので適切であると考えている。</p> <p>⑨ 団体の構成員や組織が安定しているか ⇒人員の大幅な入れ替えはなく、安定している。</p>
<p>④ 協働性</p>	<p>⑩ 広く市民や団体が参加・参画することができる事業であるか ⇒興味・関心さえあれば、老若男女問わずどなたにも参加・参画していただくことができる場所とテーマ内容をメインの事業とし、その他の事業に関してもHPから随時募集を行い、希望者に広く参加していただけるものである。</p> <p>⑪ 市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか ⇒これまでに公園を活用したことの無い層に事業という形で公</p>

	<p>園のことも届けられるので、自動的にそこに参画する他の団体とのつながりも生じ、他の事業を通して様々な角度から多種多様な連携を促進することができる事業である。</p> <p>⑫ 世代や地域等、幅広い交流、協力が図られる事業であるか ⇒場所の特性、プログラムの特性、私たち団体の特性から見て、幅広い世代が交流し、相互協力を図ることができる事業である。</p>
⑤ 公開性	<p>⑬ 事業内容を積極的に情報発信するように工夫されているか ⇒チラシを作成し、教育委員会の後援をいただきつつ、市から保幼小へ配布することで比較的若年層に向けて多くのリーチが得られる。市の広報や他の媒体から告知していただくことで、その他の層にも届けられ、また、チラシは図書館やスーパーなどの公共性が高い場所にも置いてもらうように努める。</p> <p>⑭ より多くの市民が関心を持ち、事業に参加できるように工夫されているか。 ⇒場所が目新しく、単純に行ってみたいという層が関心を持って参加することができ、またSDGSが気になっている層が気軽に参加できるやわらかい内容になっている。</p>
⑥ 発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	<p>⑮ 事業の発展や継続的な展望が期待できる事業であるか。 ⇒一つ何かをクリアできるようになれば、また次のステップへと進みたくなるもの。参加者も私たちも、双方がその時点での考えを共有し、今回に得ることができた課題は次回へとつなげ、それをまた参加者へ共有・還元して行きたい。</p>

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支予算書

事業の名称： みんなでSDGs チャレンジ！

## 1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	183,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	10,000	当日参加費（20家庭×500円）
	10,000	販売品売上（5,000×2回）
自主財源	164,000	
合計	367,000	

## 2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	12,000	参加賞（300円×40人分）
	10,000	勉強会講師料（5,000円×2人）
旅費	31,200	宿泊を伴う研修の交通費（貝塚として算出） （小人390円×10人+大人780円×5人）×2回（往復）×2回（事業回数）
	2,680	資材搬入車交通費 670円×2回×2回
	5,400	聴覚支援学校への交通費 （小人90円×5人+大人180円×5人）×2回（往復）×2回（事業回数）
消耗品費	45,000	文房具、インク、コロナ対策用品など
	40,000	イベント用木材（1,000円×40人分）
	20,000	販売用クラフト材料
	10,000	その他工作用材料
	3,420	燃料代（薪大700円+小440円）×3回 （宿泊を伴う事業2回、新年親子事業1回）
食料費	11,000	スタッフ用飲料費（200円×5人×11回）
	46,000	参加者用飲料費（200円×10人×23回）
印刷製本費	20,000	チラシ印刷代（A4カラー10,000枚）
役務費	6,300	郵便料、通信費、振込手数料、保険、ゴミ処理費等
	22,000	通信費（zoom使用料）
	40,000	プログラム参加費用（4,000円×10人）
使用料及び賃借料	42,000	施設利用料（信太山野外活動センター） （小人520円×10人+大人1100円×5人）×2泊×2回（事業回数）
合計	367,000	
対象経費	367,000	

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。